



NEC PC-6001

資料登録番号
1999-47

パーソナルコンピュータ、いわゆるパソコンは1970年代後半から続々と各メーカーから発売されました。当時8ビット・マイクロプロセッサ^(※1)を搭載したパソコンが数多く発売され、中でもNECの「PC-8001」、シャープの「MZ-80K」、富士通の「FM-8」が人気を博し、のちに「8ビット御三家」と呼ばれるようになりました。^(※2)

このNEC PC-6001も、8ビット・マイクロプロセッサを搭載したパソコンで、NECから1981年に発売されました。PC-8001が実務用(ビジネス向け)に作られた製品であるのに対し、こちらは家庭用のホビーマシンとして販売され、価格も約9万円と当時のパソコンとしては安価な機種でした。パピコンの愛称で親しまれ、おもにゲームや教育目的で活用されました。

しかしこのホビーマシンの時代は、それほど長く続きませんでした。1983年には任天堂から「ファミリーコンピュータ」が発売され、空前のファミコンブームが始まり、また80年代後半には16ビットパソコンが普及し、ファミコンでは物足りない人たちが、より深いストーリーや美しいCGを実現するハイスペックのパソコンでゲームをするようになっていきました。こうして、ファミコンブームとパソコンゲームの二極化が進み、結局安価な8ビットのホビーマシンは、徐々に姿を消していくことになったのです。

当館で所蔵しているPC-6001ですが、実は5年ほど前に動かしたことがあります。その時は展示場でBASICプログラムを走らせる実演会を行いました。今でも動くと思いますので(きっと…)、コロナが落ち着いたら、また実演したいと思います。

(※1)現在のパソコンの主流は、64ビットパソコンです。

(※2)展示場1階「いろいろなパソコン」では、当館で所蔵する歴代のパソコンを展示しています。PC-8001も展示していますので、合わせてご覧ください。

西野 藍子(科学館学芸員)



写真1. NEC PC-6001

発売年	1981年
メーカー	NEC
CPU	μ PD780C-1 (4MHz: Z80A互換)
メモリ	16KB(最大32KB)